

紙・パルプ産業

P R

紙・パルプ業界で紙製品の用途を拡充する動きが活発化している。外気からの遮断性を高めた包装材を食品などに展開してプラスチックの代替需要を取り込んだり、高保湿のハンドタオルを開発して衛生・手肌ケア機能を両立させたりする。企業での環境負荷の低減ニーズの強まりや、コロナ禍後の消費者ニーズの変化への対応を推し進める。

日本製紙

日本製紙は酸素や水活用したバリアー塗工蒸気の透過性を抑えらるる紙製バリアー素材「シールドプラス」の用途を広げている。チヨコレートや麺類などでの採用に続き、5月から全農・パールライス（東京都千代田区）の魚沼産コシヒカリでの利用が始まった。石油由来のプラスチックを代替し、再生可能な木質由来の素材活用を促進する。

シールドプラスは製紙用の水系塗工技術を

木質由来の素材活用

活用したバリアー塗工して生産する。酸素や水蒸気に対して従来のフィルム品相当のバリアー性を有するため、プラスチック使用量を減らしつつ内容物の品質を保てる。魚沼産コシヒカリでは2.5kg/袋製品でプラスチック



魚沼産コシヒカリの包装材に紙製バリアー素材が採用された

使用量を従来材に比べ約38%削減し、5kg/袋製品で同約15%削減した。また、においのバリアー性も有するため、せつけんなど液体以外の衛生用品の包装にも適しており、既に入浴剤で採用事例がある。同素材はフィンランド子会社の十條サーマルからの供給もできる。非食品や海外の市場を含め販促を強化する方針だ。



木とともに未来を拓く

日本製紙パピリア株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 電話 03-6665-5800(代表)

<https://www.papylia.com>

「創造への挑戦」紙の新しい可能性を拓く日本紙通商



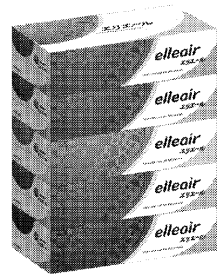
日本製紙グループ

日本紙通商株式会社

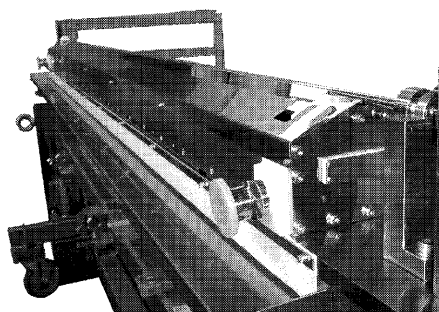


やさしく触れていいですか。

みんなの、すぐそばで働くものだから。ひとの肌に、直接ふれるものだから。私たちがエリエールは、なによりも「品質」にこだわっています。「どこまで人間にやさしくできるか」を追い求めていきます。ひとりひとりの幸せと、そんな「スキンスリップ」を通して、深くかかわっていきます。「やさしく触れていいですか？」この問いに、世界中のすべての人から、力強い「Yes」をもらえるように。気持ちのために。からだのために。そして地球のために。エリエールの「やさしさへの挑戦」は続きます。



大王製紙株式会社 <https://www.elleair.jp>



薄膜パーコータの進化形 DMコータ

- 薄く 1.8μmwet の薄膜塗工を実現
- やさしく 塗工液の循環量を軽減・溶剤揮発量を軽減
- コンパクト 液供給と計量を一体化・改造、増設が容易
- 基本仕様 最大塗工幅 5400mm
速度 Max.200m/min
塗工厚 1.8~50.0μm/wet
粘度 1.0~50mPa・s
塗料 有機溶剤系/水系
主な使用例 ハードコートフィルム・AR,LRフィルム・離型フィルム・LBセパレータ・各種アンダーコート

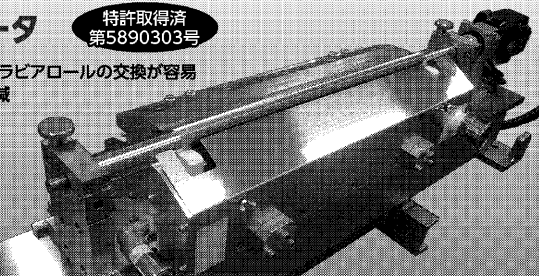
ハイエンド製品を生み出す技術 ワイヤーバー

- 製作技術 “塗りの達人”小林製作所が50年にわたり製造・販売
- 最高品質 自社開発設備で製作する高精度バー
- 豊富な巻線 0.025mmから対応可能極細線バー(0.075mm以下)で薄膜塗工を実現
- 品質管理 素材の受入から製品出荷まで、全工程検査を実施
- 表面処理 HCrメッキ処理(0.2mm以上に対応)DLC処理

中粘度用薄膜塗工 スマートグラビアコータ

特許取得済
第5890303号

- 特長 小径ロールでも挽みによる影響がない・グラビアロールの交換が容易
・セミクローズド方式により溶剤揮発量を軽減
・コンパクト設計により改造が容易
- 基本仕様 最大塗工幅 1600mm
速度 Max.200m/min
塗工厚 1.0~50μmwet
粘度 1~200mPa・s
塗料 有機溶剤系/水系



株式会社 小林製作所

本社・工場 〒416-0921 静岡県富士市水戸島2-1-1 TEL0545(61)2406 FAX0545(61)2445

URL <http://www.kobayashieng.co.jp>

紙、そしてその向こうに

私たちはビジネスパートナーの皆様の頼れる水先案内人として、「紙」と、その先を見据えた明日へ航行してまいります。

日本紙パルプ商事グループ

www.kamipa.co.jp/

大王製紙

大王製紙は保湿性を重視したティッシュペーパーブランド「エリール贅沢保湿」で初となるハンドタオルを10月に発売する。ヒアルロン酸やグリセリンなど保湿成分を多く配合することで紙表面の摩擦を抑え、しっとりとして滑らかな拭き心地を実現した。コロナ禍後の衛生意識の高まりでハンドタオル需要が増す中、消費者が気に掛ける手肌負担を軽減し、快適な手洗いニーズを取り込む。

滑らかな拭き心地

食品や化粧品相当の保湿成分を採用する一方、べたつき感がないため調理前でも使える。パッケージのサイズは奥行き105ミリ×幅123ミリ×高さ180ミリとコンパクトで、手狭になりがちな水回りにも置きやすかった。



衛生・手肌ケア機能を両立させたハンドタオルを開発した

への不安などを理由に、手拭き用途で使い捨てハンドタオルを使う人がコロナ禍前に比べ増えているという。一方、手洗い後の手荒れに悩む人は79・4%に上る。新たなハンドタオルでは衛生面と手肌ケアを両立させた点を訴求し、拡販を狙う。

KPPグループホールディングス

KPPグループホールの理解形成を促す。ペーパーターフはバショウ科の植物「アバカ」を原料にした紙から作る。紙素材は摩擦熱を伝えにくい特徴があるため、子どもがはだしで走ったり転んだのほども、日本子育て支援協会主催の「日本子育て支援大賞2026」を受賞した。子どもが安心して遊べる場の創出と、紙素材由来の環境配慮性が評価された。

屋外向け紙製人工芝

芝が採用された。葉の部分がちぎれて海洋に流出しても、生分解性を備えているためマイクロプラスチックの発生源にならない点を訴求し、環境負荷の低減



南郷上ノ山公園で屋外用の紙製人工芝が導入された（神奈川県葉山町）

木とともに未来を拓く

日本製紙グループは、「木とともに未来を拓く総合バイオマス企業」として、「持続可能な森林資源の循環」「技術力で多種多様に利用する木質資源の循環」「積極的な製品リサイクル」からなる「3つの循環」をビジネスモデルとして事業を展開しています。

これまでの事業活動により蓄積されたあらゆる経営資源を最大限に活用し、この「3つの循環」を、大きく、早く回していくことで、「日本製紙グループの持続的成長」と「木質資源を最大活用した循環型社会の構築」をともに創出します。

